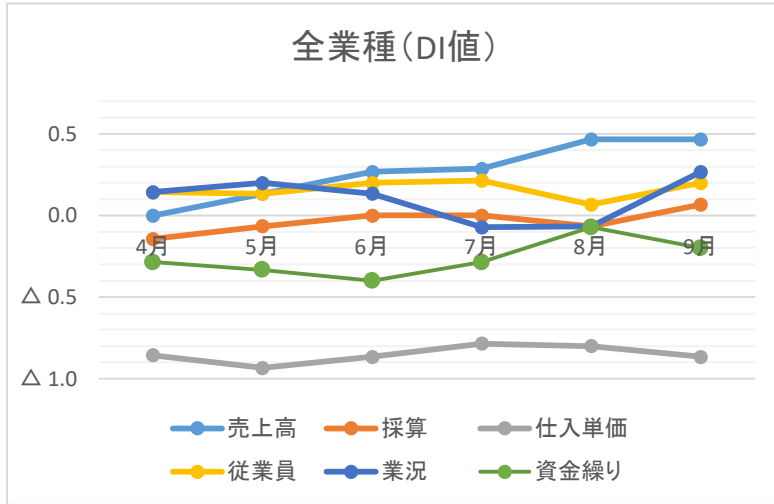


# 白河商工会議所LOBO調査結果(令和5年9月分)

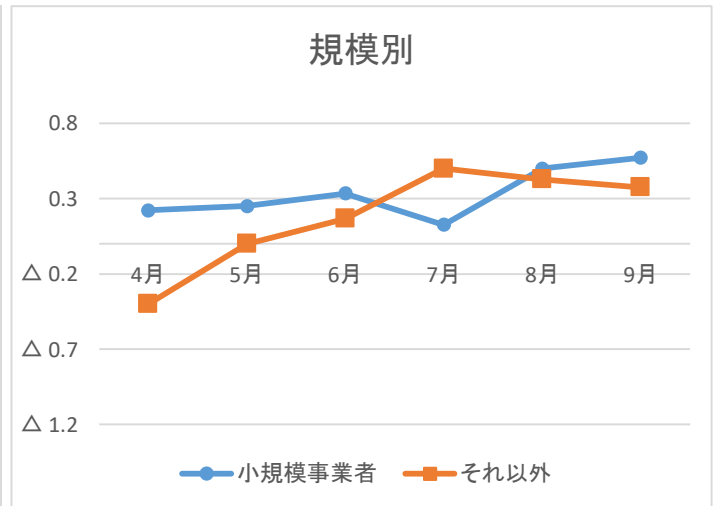
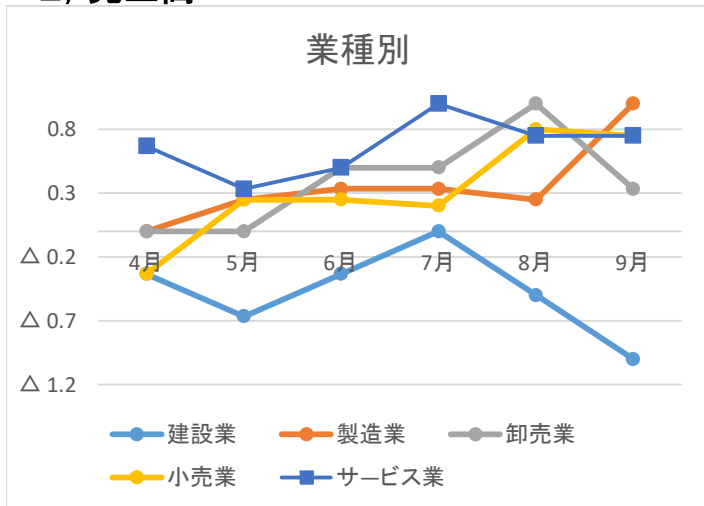
実施期間:令和5.9.10~9.20 回答事業所: 14事業所

## 1, 全業種DI値



9月の全業種DI値を見ると採算は+0.2ポイント、従業員は+0.1ポイント、業況は+0.4ポイント上昇した。  
一方で、仕入単価・資金繰りは-0.1ポイント下降した。  
売上高は横ばいであった。

## 2, 売上高

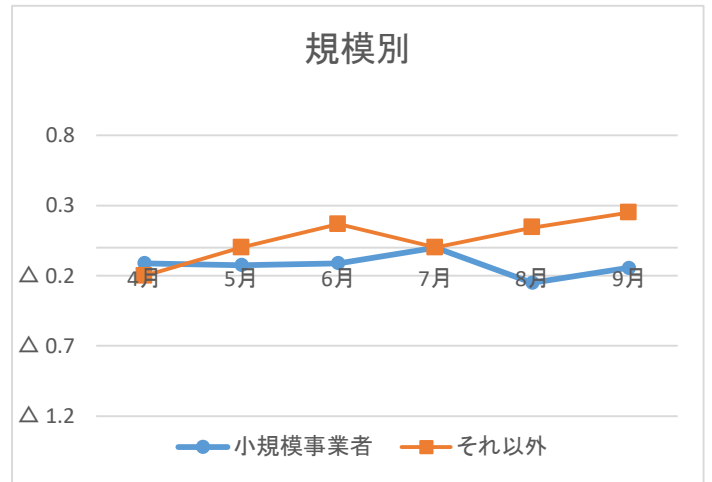
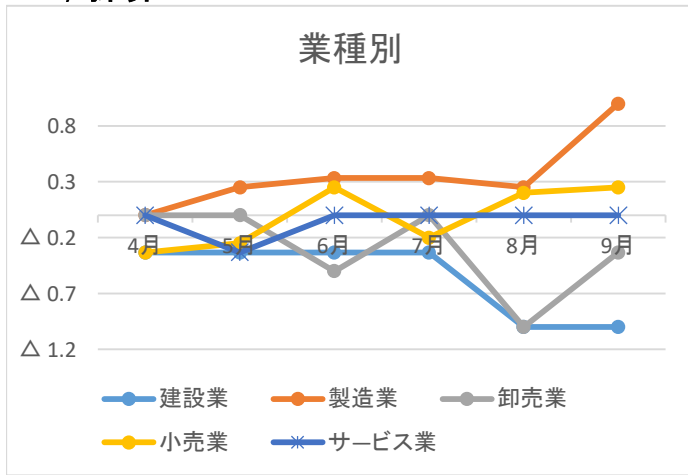


売上DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	0.0	0.1	0.3	0.3	0.5	0.5
建設	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.3	0.0	△ 0.5	△ 1.0
製造	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0
卸売	0.0	0.0	0.5	0.5	1.0	0.3
小売	△ 0.3	0.3	0.3	0.2	0.8	0.8
サービス	0.7	0.3	0.5	1.0	0.8	0.8
小規模	0.2	0.3	0.3	0.1	0.5	0.6
それ以外	△ 0.4	0.0	0.2	0.5	0.4	0.4

全産業の売上DIは前月と比べて横ばいであった。  
業種別に見てみると、製造業は+0.7ポイント上昇した。  
一方で、建設業は-0.5ポイント、卸売業は-0.7ポイント下降した。  
小売業・サービス業は横ばいであった。  
規模別に見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は横ばいであった。

### 3, 採算

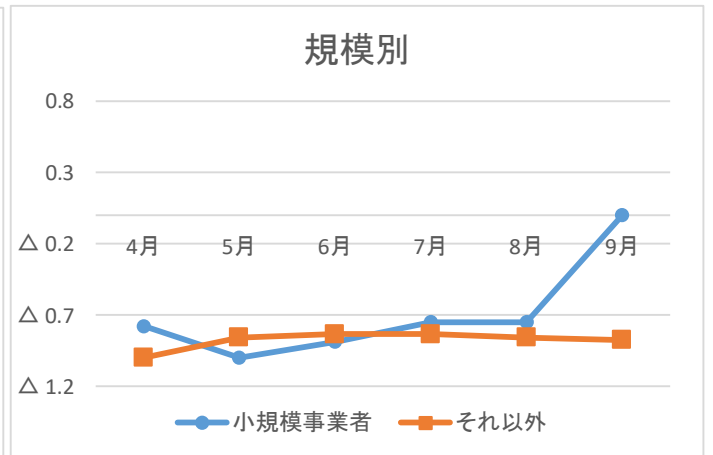
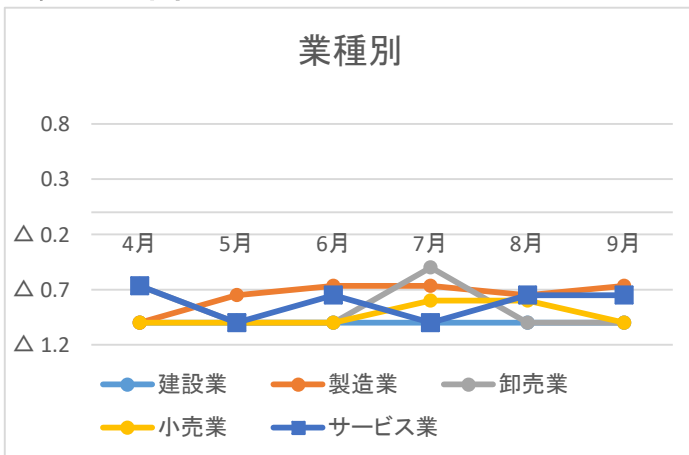


採算DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△ 0.1	0.1	0.0	0.0	△ 0.1	0.1
建設	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0	△ 1.0
製造	0.5	0.0	0.3	0.3	0.3	1.0
卸売	△ 0.3	0.0	△ 0.5	0.0	△ 1.0	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.3	0.3	△ 0.2	0.2	0.3
サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.3	△ 0.1
それ以外	0.0	△ 0.2	0.2	0.0	0.1	0.3

全産業の採算DIは前月と比べて+0.2ポイント上昇した。  
業種別に見てみると、製造業・卸売業は+0.7ポイント、小売業は+0.1ポイント上昇した。  
建設業・サービス業は横ばいであった。  
規模別に見ると、小規模・それ以外ともに+0.2ポイント上昇した。

### 4, 仕入単価

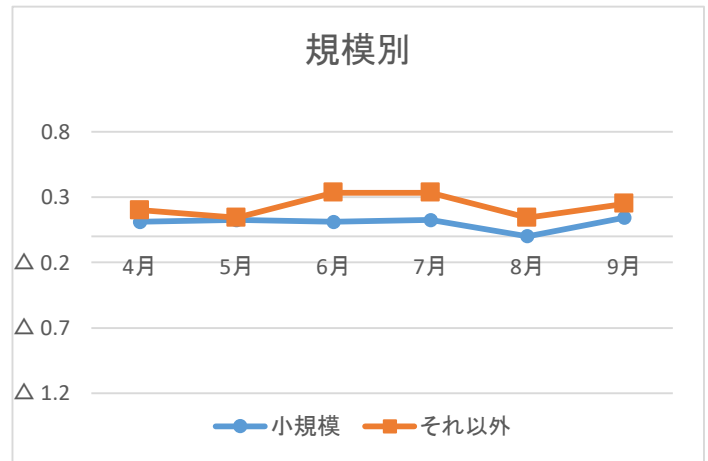
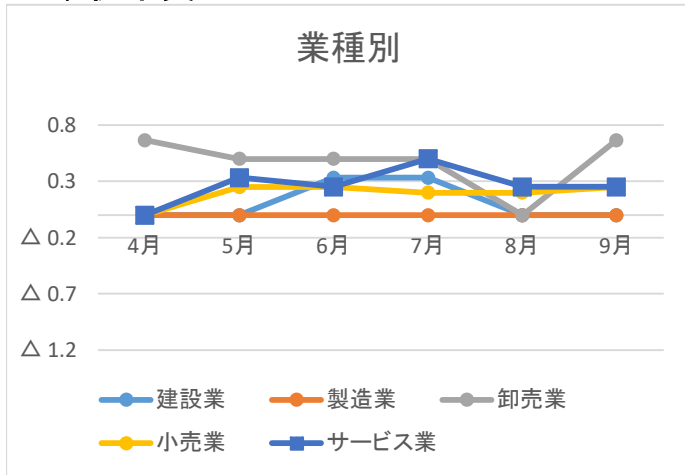


仕入単価DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.9
建設	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7
卸売	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0
小売	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.8	△ 1.0
サービス	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.8
小規模	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.8	0.0
それ以外	△ 1.0	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.9

仕入単価の全産業DIは-0.1ポイント下降した。  
業種別に見ると、製造業は+0.1ポイント上昇した。  
一方で、小売業は-0.2ポイント下降した。  
建設業・卸売業・サービス業は横ばいとなった。  
規模別に見ると、小規模は+0.8ポイント上昇、それ以外は横ばいであった。

## 5, 従業員

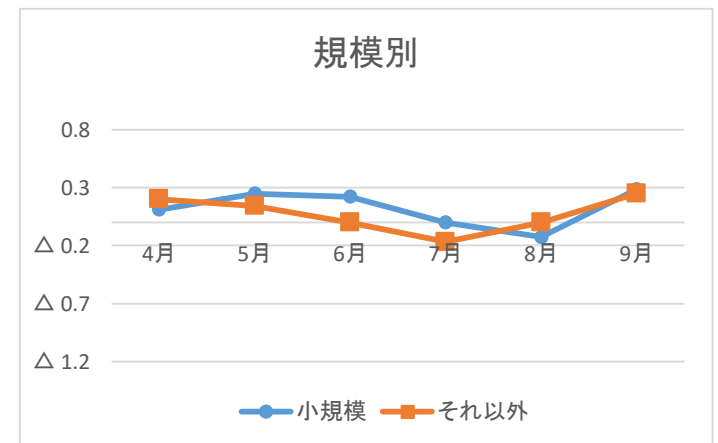
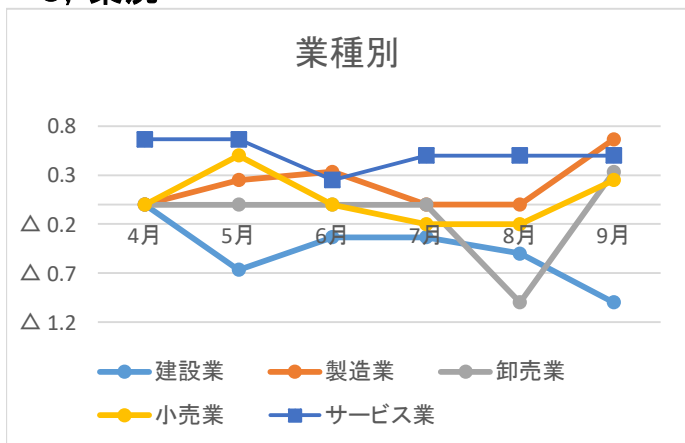


従業員DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
建設	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売	0.7	0.5	0.5	0.5	0.0	0.7
小売	0.0	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3
サービス	0.0	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3
小規模	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
それ以外	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	0.3

従業員の全産業DIは、+0.1ポイント上昇であった。  
業種別にみると、卸売業は+0.7ポイント、小売業は+0.1ポイント上昇した。  
建設業・製造業・サービス業は横ばいとなった。  
規模別にみると、小規模は+0.1ポイント、それ以外は+0.2ポイント上昇した。

## 6, 業況

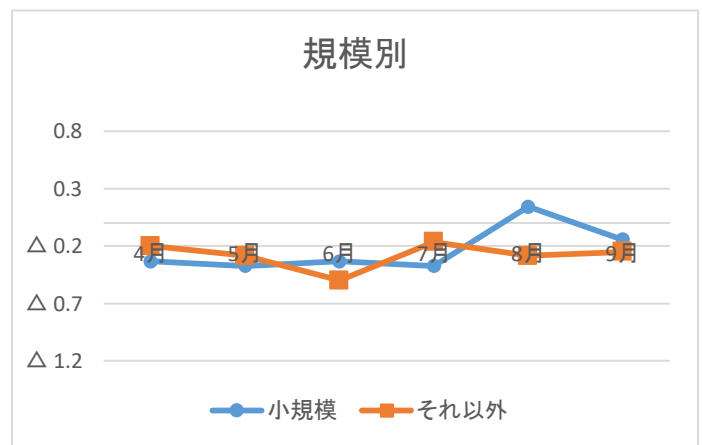
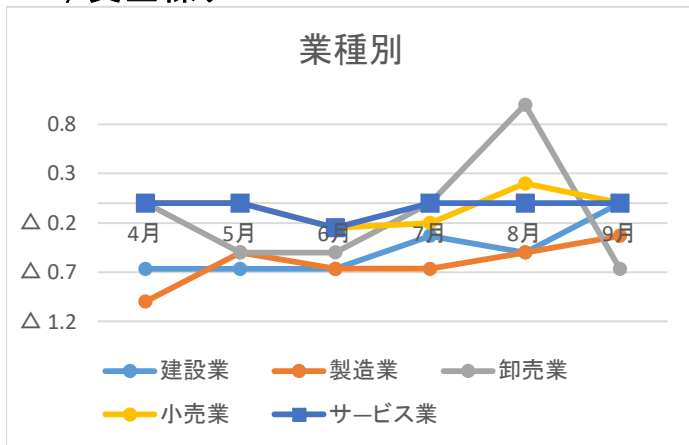


業況DIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	0.1	0.2	0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.3
建設	0.0	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.0
製造	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.7
卸売	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 1.0	0.3
小売	0.0	0.5	0.0	△ 0.2	△ 0.2	0.3
サービス	0.7	0.7	0.3	0.5	0.5	0.5
小規模	0.1	0.3	0.2	0.0	△ 0.1	0.3
それ以外	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	0.0	0.3

業況の全産業DIは+0.4ポイント上昇した。  
業種別に見ると、製造業は+0.7ポイント、卸売業は+1.3ポイント、小売業は+0.5ポイント上昇した。  
サービス業は横ばいであった。  
一方で、建設業は-0.5ポイント下降した。  
規模別で見ると、小規模は+0.4ポイント、それ以外は+0.3ポイント上昇した。

## 7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全産業	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.2
建設	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.5	0.0
製造	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.3
卸売	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	1.0	△ 0.7
小売	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.2	0.2	0.0
サービス	0.0	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
小規模	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	0.1	△ 0.1
それ以外	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3

資金繰りの全産業合計DIは-0.2ポイント上昇した。

業種別に見ると、建設業は+0.5ポイント、製造業は+0.2ポイント上昇した。

一方で、卸売業は-0.3ポイント、小売業は-0.2ポイント下降した。

サービス業は横ばいとなった。

規模別に見ると、小規模は-0.2ポイント下降、それ以外は横ばいであった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

**【緊急調査】**

1. 東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出について、中国における日本産水産物の全面禁輸や日本製品の不買運動、日本への観光ツアーのキャンセル等による企業活動や地域経済への悪影響が懸念されています。これに関連して、以下2点についてお伺いします。

1-1. 自社の経営や地元地域への悪影響(懸念含む)について、選択肢から1つお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①現時点で具体的な悪影響が発生している						0
②現時点で具体的な悪影響は発生していないが、問題が長期化すると発生が懸念される		1		2	1	4
③悪影響が発生するとは考えていない	2	1	2		3	8
④分からない		1	2			3
⑤回答不能						0

※質問1-1. で選択肢1または2に回答した方にお伺いします。

1-2. 自社の経営や地元経済で発生している、もしくは、発生が懸念される具体的な悪影響の内容についてご記入下さい。(コメント欄)

中国と日本の長期悪化は日本の経済特に輸出に及ぼす影響が大きくなって最終的には日本の消費生活に悪化の面で心配です。日本製品の不買運動の点で中国に輸出している企業や中国に拠点がある企業と取引ががあるため。

**【付帯調査】**

2. 本年の春闘における中小企業の回答額は総平均で7,864円・2.94%アップ、最低賃金額は全国加重平均で1,004円・43円アップと、人手不足を背景に“収益が十分な水準にない中でも賃金を引き上げざるを得ない(いわゆる防衛的賃上げ)”との声も多く聞かれま賃上げに関連して、以下の5点についてお伺いします。

2-1. 貴社の正社員における2023年度の賃上げの状況について、選択肢から1つお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)			1	1		2
②業績の改善が見られないが(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	2		3	1	4	10
③賃金は同水準を維持する		2				2
④賃金は引き下げる						0
⑤現時点では未定		1				1
⑥回答不能					1	1

※質問2-1. で選択肢1~2と回答した方にお伺いします。

2-2. 貴社の正社員における2023年度の賃上げの内容について、選択肢からのお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した(予定含む)			1	2		3
②ベースアップを実施した(予定含む)	1		4	1	3	9
③手当の新設・増額(予定含む)	1		2			3
④一時金(賞与)を増額した(予定含む)			1	1		2
⑤回答不能		3			1	4

※質問2-1. で選択肢1~2と回答した方にお伺いします。

2-3. 貴社の正社員における2023年度の賃上げ率について、選択肢から1つお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①エネルギーコスト上昇を危惧している			2	1		3
②エネルギー安定供給への影響を危惧している	1		1			2
③経営環境が厳しい中、カーボンニュートラル・GXを意識し対応している余裕がない						0
④自社でカーボンニュートラル・GXに対応するには負担が大きく、行政からの強力な支援に期待する	1				2	3
⑤カーボンニュートラル・GXに向けた動きをビジネスチャンスと捉え、自社の経営革新に繋げたい						0
⑥省エネ・省CO2に取り組み、コスト削減・経営改善に繋げたい						0
⑦取引先・金融機関等から温室効果ガス排出量の把握・削減を要請されている			1		1	2
⑧企業の社会的責任や自社イメージ向上等の観点で、カーボンニュートラル・GXへの取組みが重要		3		1	1	5

※質問2-1. で選択肢1～2と回答した方にお伺いします。

2-4. 正社員の賃上げを行う理由について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①主要な商品・サービスに一定の価格転嫁が行えたため			1	1	1	3
②人材確保・定着やモチベーション向上のため	2		2	2	3	9
③最低賃金が引き上げられたため			3		1	4
④新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げたため			1			1
⑤時間外労働の削減により手取り額が減少しているため				1		1
⑥社会保険料の増加により手取り額減少しているため				1		1
⑦他社より低い賃金になっているため						0
⑧数年来、賃上げを見送っていたため						0
⑨物価が上昇しているため	2		3			5
⑩税制の優遇措置(所得拡大促進税制)を利用するため					2	2
⑪その他						0
⑫回答不能		3			1	4

※質問2-1. で選択肢3～5と回答した方にお伺いします。

2-5. 正社員の賃上げを見送る(予定含む)もしくは未定とする理由について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

	建	製	卸	小	サ	合計
①エネルギー・原材料価格等の高騰分を十分に価格転嫁できず収益が圧迫されているため		1				1
②今後の経営環境・経済状況が不透明なため						0
③業績の改善がみられないため(見込み含む)		3				3
④社会保険料の増加により会社負担が増えているため						0
⑤すでに他社と同水準(もしくはそれ以上)の賃金になっているため						0
⑥増員(予定を含む)による総人件費の増加を抑えるため						0
⑦新商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため						0
⑧非正規社員の賃金(時給等)を引き上げる一方で、総人件費の増加を抑えるため						0
⑨研修や福利厚生充実を優先させるため						0
⑩その他						0
⑪回答不能	2		4	2	4	12

(コメント欄)